



大学院研究科

飯岡 由紀子 教授

【研究分野】 がん患者へのケア、がん看護、ウイメンズヘルスケア
 【キーワード】 がん医療、がん看護、ウイメンズヘルスケア、更年期障害
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=2631>



①がん患者へのケア ②ウイメンズヘルスケア

研究概要

- ①がんは2人に一人が罹ることから国民病といわれ、「がんと共に生きる」ことがテーマとなっています。がんの治療は、手術、抗がん剤治療、放射線治療、免疫療法など多様に発展してきました。副作用とつき合いながら、治療を続けて、治療と生活を両立することが大切になります。がん患者や家族が、より良い生活をおくれるようサポートするケアに関する研究に取り組んでいます。
- ②一生のうちに分泌される女性ホルモンはスプーン1杯ですが、そのホルモンにより生活には様々な影響が及びます。特に、女性ホルモンが急激に減少する更年期は、人生の過渡期と言われ、その時期をうまく乗り越えるためのケアに関する研究に取り組んでいます。

研究紹介

①【ホルモン治療をうけている乳がん患者が、治療と生活との両立を支援する研究】

ホルモン治療中の副作用症状やストレス対処の状況を、簡単な入力作業だけで体調を自分で把握し、生活上の工夫のアドバイスを提供するプログラムを開発しました。プログラムに参加した患者は、症状が緩和することや不安が和らぐことが検証されました。



<https://ii-navi.jp>

②【更年期障害の女性へのカウンセリングの介入研究】

更年期障害は女性ホルモンの減少だけでなく、介護、職場の人間関係、子供の受験等のストレスにより大きな影響を受けます。治療薬だけでなく、カウンセリングを含めた心身医療が重要です。カウンセリングを行ったことで、症状や心の疲労度が緩和しました。

講座テーマ紹介

以下のようなテーマに関することで研究会や講習会の開催が可能です。

- ①
 - ・ **がんの啓発（がん予防、がん検診など）**
 - ・ **がん治療と生活の両立に関して（副作用対応、メンタルサポート、家族支援など）**
 - ・ **療養生活の支援（終末期ケア、意思決定支援、症状緩和など）**
- ②
 - ・ **更年期女性のメンタルヘルス**
 - ・ **更年期女性へのヘルスケア（更年期症状、骨粗鬆症、尿失禁ケアなど）**
 - ・ **中高年女性への健康支援（食生活の改善、運動、サプリメントの活用など）**

アピールポイントなど

- ①がん患者・家族だけでなく、一般市民に向けた講演を行ってきた経験があります。治療に関する講演は多く行われていますが、どのように生活するのか、どのように気持ちを保つのかも重要です。治療だけでなく、生活の側面も含めて、共に考えていきたいと思えます。また、世間には情報があふれていますが、より確実な情報を基に、がんと共に生きることを支援したいと考えています。
- ②更年期障害の女性にむけたカウンセリングを10年以上にわたり行っています。また、メンタルヘルス、食生活や運動などに関する研究会をこれまで多く行ってきました。